

TOWN INFORMATION MAGAZINE

# ふいにすた・小樽

ポートフェスティバル 保存版 特集号



臨時増刊

¥200

# 特集

## '79 ポートフェスティバル

集まれ!! ポートフェスティバル - - - 3

これを見たら一目でわかる

フェスティバル

マップ - - - - 4~5

### FESTIVAL・MAP

#### 小樽が熱くなる

運河が、倉庫が照明に浮かび上がる 小樽運河が、いや、小樽が熱くなる

'79ポートフェスティバル実行委員長 小川原 格 - - - 6

#### ポートフェスティバルへ

運河でひろった市民の声 - - - 10

ポートの汗は『銭湯』で「デンキ湯」 - - - - 11

#### ポートに寄せて 寄稿 ありがとう

### 興次郎「帰属記」

ステージの上の演奏は 気に小樽でくすぶっていた若者に火をつけ..... - - 8

—見た・聞いた・帰ってきた—

むかし見た『祭り』が帰ってくる - - 9

祭と赤く染めぬいたスカイブルーの ハッピとねじりはち巻き..... 情駆巣

### ビッグ・イベント

### & スケジュール

小樽の夜景つて光の城だ

CQ・CQこちらポートフェスティバル!

裸になろうぜ メイン・ステージ

16

ビア・ホールもあるぜ! 潮の香り 舶ステージ

1

松山千春が来たら どうしよう!

26

潮風にのせて 小樽からのメッセージ



# 集まれ!! 集まれ!!

## '79ポートフェスティバル

「直接の契機は、この夏七月の2日間の'78・ポートフェスティバル・インオタルであり、この祭りを成功に導いてくれた約十万人の小樽人の……」  
「人に個性があるように、わが街・小樽の個性・風格・風俗に依拠した祭りが'78・ポートフェスティバル・インオタルだったのです……」  
「私達は、この'78・ポートフェスティバルを経験して、初めてわが街・小樽には個性が、風格が、それに歴史性が加味されて……」  
(ふいえすた・小樽 刊行号)  
(わが街・小樽 より)

「去年の夏に開かれたポートフェスティバルは、体からあふれる情熱なんだわ! 祭りの……」  
(ふいえすた・小樽 2号)  
(インタビュー より)

「ところが、近頃、若い人達が途方もない事を次々に企てられる。ポートフェスティバルがそれだし……」  
(ふいえすた・小樽 2号)  
(樽つ子気性 より)

「実行委員会の予想に全く反して、夜に入ると人、人、人の波……」  
「眼の目をこすりながら新聞各紙を開く、道新、朝日の大きな扱いに食入るよう見つめる……」  
大見出しに泊り込んでいた20名近い若者大歓声。胸がジーンと熱くなつて皆んなで「今日も頑張ろー!」  
(ふいえすた・小樽 2号)  
(ぶつちやけた話 より)



「昨年の7月8、9日の『ポート・フェスティバル』開催においては、運河周辺環境の再活用を提示し……」

(ふいえすた・小樽 3号)  
飯田『運河構想』批判より

「昨年から行われている『ポートフェスティバル』は、それまで個々に活動していた仲間が、この郷土である小樽で、より根強く生きて……」  
(ふいえすた・小樽 4号)  
記録・それだけではない小樽 より)

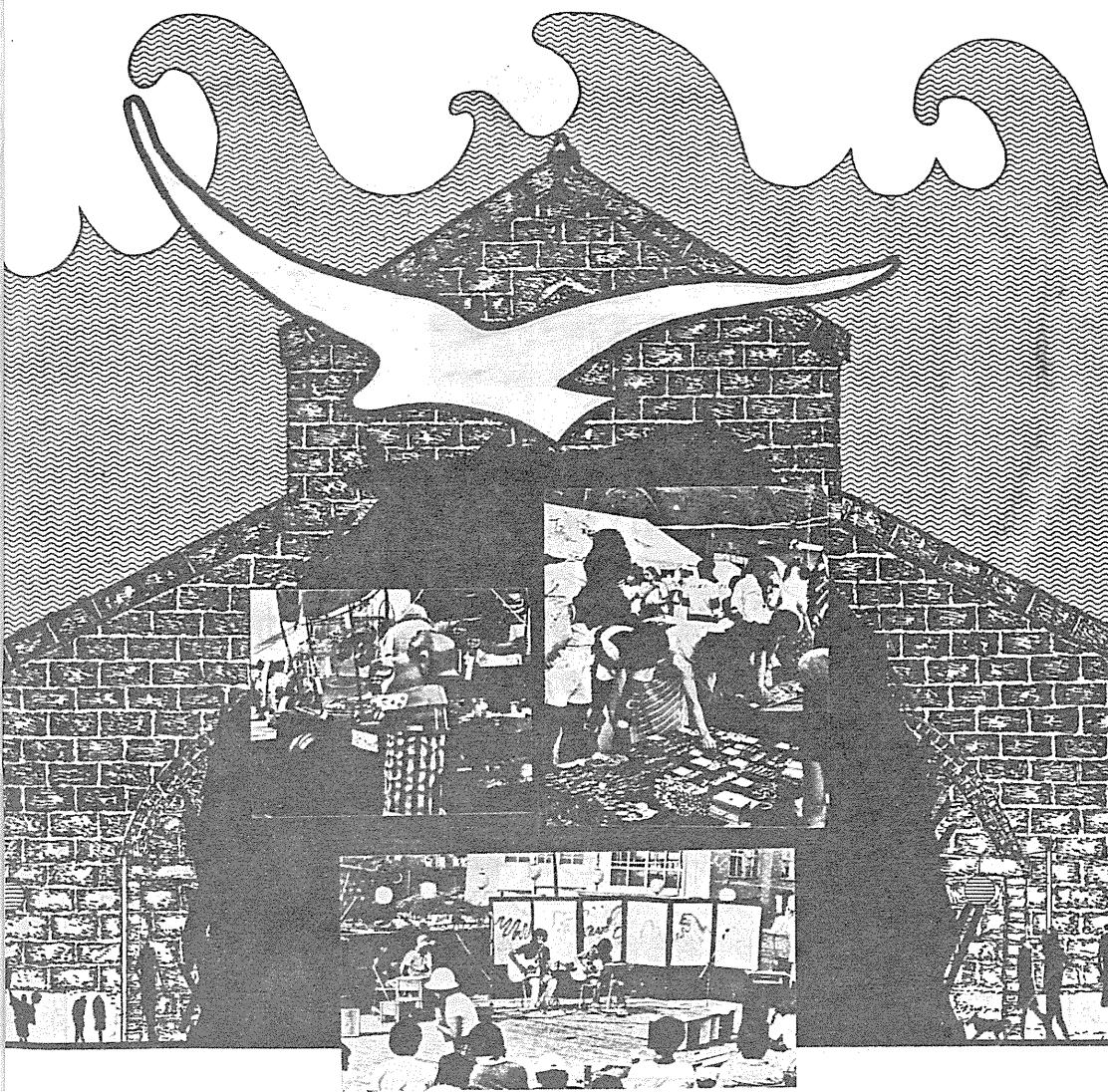
# 集まれ!! 集まれ!!

## '79ポートフェスティバル

# '79 PORT FESTIVAL IN OTARU



7月7日(土) PM3~ 7月8日(日) AM10~



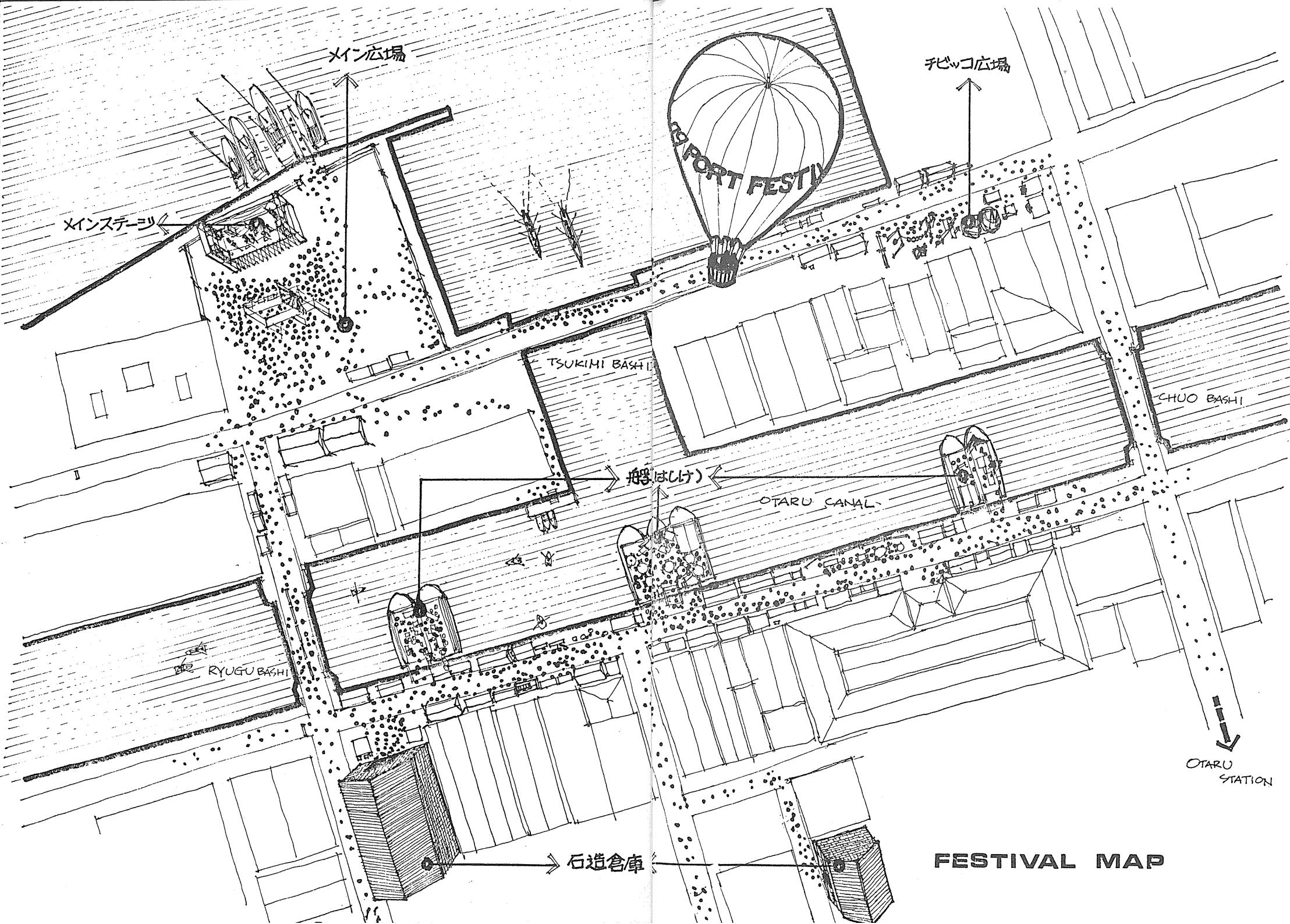
「昨年の『小樽ポートフェスティバル』はいい祭りだつたナ! 手作りの出店や、盆踊りのかわりの、ロックやフォークのステージ……」  
(ふいえすた・小樽 4号)  
流川からのメッセージ より

ここに掲げたのは、昨年の12月、この『ふいえすた・小樽』創刊号から、半年間のうちに出了4号までの中で、とりあげられた『ポート・フェスティバル』に関するものです。こうやって見ると、毎号に渡つて『ポート・フェスティバル』と言うこの言葉の出て来ないものはないという事に気が付くでしょう。

地位も名譽も、ましてお金もなく、ただ誰よりも『わが街・小樽』を愛する若者達の手によって……準備期間、人員、資金、宣伝と全ての点で非力だったにもかかわらず、10万人もの小樽人を引きつけたのは何が……それまでに小樽人、いや彼らを熱くさせたのは何だったのだろう。今年も7月7、8日の2日間、そのポート・フェスティバルが運河に帰つて来るのです。

今やポートフェスティバルは小樽ばかりではなく、苫小牧、滝川、札幌など、北海道全城に影響を及ぼす程になつてます。

ここに『'79・ポートフェスティバル・イン・オタル』は、その全てを明らかにするのです。



# '79 PORT FESTIVAL IN OTARU

運河が 倉庫が 照明に浮び上る  
小樽運河が いや 小樽が熱くなる

’79ポートフェスティバル実行委員長

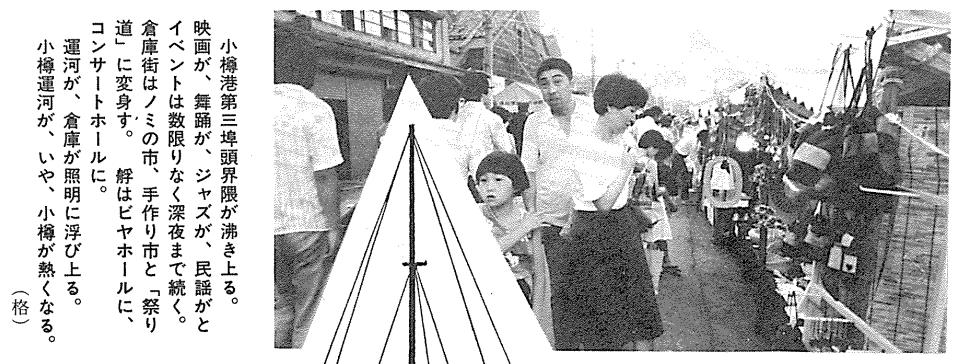
小川原 格

あらためて、祭りに意味合いを付与する必要はないだろう。  
「祭り」は、唯一楽しむためにこそある。そういう「祭り」が、もうすぐやつてくる。

港で栄えたわが街・小樽の「夏祭り」が、いつの間にか水辺から丘の上に逃げこんでしまってからもう何年が経たのだろうか。自分達の気に入った「ゆかた」で「ねりこみ」と意氣ごむ若い娘たちに「実行委員会の決めたゆかた以外は禁止」と強い。祭りの意気込みに水をかける祭りもあるそうな。  
そんな祭りがある中で、全く手造りの「祭り」が、小樽の顔・運河周辺で

「時の流れ」が、そこを訪れるものすべてを魅了する「小樽運河と周辺倉庫群」の沿道に、素人があたためてきた手造り作品が数限りなく並ぶ「祭り」がやつてくる。  
勿論、ロック・フォーク・ジャズコンサートや、のど自慢大会で若者のエネルギーが爆発するばかりではない。お年寄りが孫の手をとり、昔自分が子供の時分に運河や駒の上で遊び廻った自慢話を聞かせながら、出店をひやかす光景が、又今年もやつてくる。  
今では、わが街・小樽以外ではまったく味わう事の出来ない石造倉庫の素材——小樽軟石のぬくもり、肌ざわりに引かれてヨソの街からやってくる人達も多いだろう。

やつてくる人達も多いだろう。  
待してやつてくる。  
そう!! そんな祭りが「’79ポートフェスティバル・イン・オタル」なのだ。  
今、僕らは目を血走らせ、口からツバを飛ばして口論し、すべての準備が祭り当日までに間に合うのかという不安の中を、ある者は祭りの財源を少しでも多くとシンボルマーク入りタオル、Tシャツ売りに飛び廻り、その売った額を競い、又ある者は奉賛帳を小脇にかかる協力寄付金を募って歩く。  
祭り会場の設営のために資材の点検・人員の確保に飛び廻り、出店担当の若者は「テキ屋」も頬負けの地割りに余念がない。  
船会場・チビッコ広場・ファーリードアスレチック・メインステージ担当者のそれぞれの肌がもうすぐ「運河焼け」で真黒に日焼けする日がやつてくる。  
遠く美唄・滝川からも若者がやつてくる。すべてが7月7~8日のたつた二日間の「’79ポートフェスティバル」のために。



小樽港第三埠頭界隈が沸き上る。  
映画が、舞踊が、ジャズが、民謡がと  
イベントは数限りなく深夜まで続く。  
倉庫街はノミの市、手作り市と「祭り」  
道に変身する。船はビヤホールに、  
コンサートホールに。  
運河が、倉庫が照明に浮び上る。  
小樽運河が、いや、小樽が熱くなる。  
(格)

永かった冬も過ぎ、いよいよ春の訪れを感じられる今日この頃、皆様にはなお一層御精進の事とお慶び申し上げます。

さて、小樽の夏祭りのメイン「潮祭り実行委員会」がいよいよ発足し、各町内会単位でも夏祭りの準備にかかり始めました。

そのような中、私ども小樽の若者と私どもを暖くみつめて下さる方々とが、再び集い、話し合い、「’79ポートフェスティバル」開催に向けて、3月下旬、その実行委員会を発足させる事になりました。

昨年のポートフェスティバルは、何にも全てが初めての試みであり、加えて素人の若者が中心であったため、皆様にはいろいろ御心配をおかけしましたが、御支援・御協力を得て、おかげさまで小樽は勿論、近隣市町村をも含めますと、約十万人にもおよぶ人々に祭りを楽しんでいたたく事ができました。

昨年のポートフェスティバルの成功は、以降、私ども若者が、自らが「何かする事」の大切さを教え、それも自らが生活する場——わが町・小樽という舞台で「行動」する事の大切さを教えてくれました。自然環境に恵まれ、歴史のあるわが町・小樽、小樽で、数年前までは特別の事のようにしか語られなかつた様々な若者の試み一手作り工芸の店や古い蔵を利用した喫茶店やライブハウスなどはすつかり定着し、そこを拠点に演劇や音楽、レコード製作と小樽独自の文化形成の一端を担うまでに育つて来ています。

趣意書

私たち、北の海がつちかつてきました歴史、風雪に耐えながら形づくられてきた町並み、人情というものの中に、この若者の活気ある動きを盛り込みたい、その表現として「ポートフェスティバル」を開催したいのです。

勿論、このポートフェスティバルは若者だけの「祭り」ではありません。「赤ちゃんからお年寄り」までが参加できる「手作りの祭り」。その祭りの「場」を、小樽とは切つても切れない「水辺」「歴史」を生かした空間で開催したいのです。

昨年のポートフェスティバルは、初めての試みに加え、準備期間のなさ資金不足等が重なり、思い描いた企画のすべてが催されたとはいえませんでした。今年は、子供からお年寄りまでの多くの人々にも自ら楽しい企画をもつて参加していただき、昨年以上の「祭り」にしたいものと考えております。

今年は、手作りの文化——わが町——水辺の祭り——というテーマのもとに小樽を楽し、水辺を愛し、手作りを愛し、小樽の歴史を誇る人々と共に、若者の心意気、息吹きを溢れさせようとする私どもの趣旨にどうぞ御賛同いただきま

すようお願い申し上げます。

ポートフェスティバル実行委員会  
実行委員会会長 小川原 格  
小樽市編集2 19 14



**NATO**  
JEANS SHOP

小樽店 ☎ 22-3031  
手稻店 ☎ 683-5362

コーヒーの香りの中で別世界を……

アンティック喫茶  
**伊麻里**

おたる長崎屋東通りマルゼン2階 ☎ 0134-33-2340



# ポート・フェスティバルへ あなたの一言

さて、今回我々インフォメーションスタッフは、ポートフェス意識調査のため、六月のとある日曜日、ポートの会場となる運河周辺へ取材に行ってきました。これはそのインタビューの模様です。

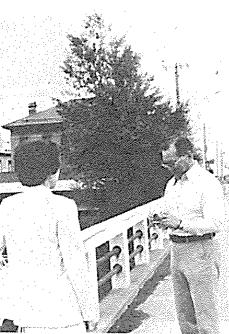
## 散歩中の中年の御夫婦

Q お住いは小樽ですか？  
転勤で札幌に来たのですが友人に小樽運河が素晴らしいという事を聞き家内と一緒に見に来たんです。

Q 昨年からこの場所で、運河、港、倉庫などもう一度見直そうという目的でポートフェスティバルという祭りを始めたのですが、その点についてどう思われますか？

私もこの小樽の街が好きです。  
そういうお祭りは大変結構な事ですね、お祭りはこれから街づくりにおいても古いものと新しいものとの調和を大切にして欲しいと思います。

ポートフェスティバルといふ張って欲しいですね。



大家倉庫の前を歩いている女性二人

Q お二人共小樽ですか？

Q ポートフェスティバルって知っていますか？

ハイ！去年来たかったんですね。がどうしても用事があつて……

今年は是非来たいと思います。

一人は小樽ですが私は札幌です。がどう感じますか？

若い人の間でそういう意識が高いままっているという事は喜こばしい事ですね。その中心とも言えるポートフェスに心から期待しています。頑張って下さい。



Q ポートフェスは知っていますか？

新聞などで見て知っています。  
今年も是非来たいですね。

Q ポートについてどう思いますか？  
こんな身近なところに素晴らしい催しがあって、札幌ばかりじゃなく金道、全国の人がこの小樽を見にやって来るなんて素晴らしいですね。

Q ポートフェスは知っていますか？  
去年以上の成功を上げるよう期待しています。

Q ポートについてどう思いますか？  
こんな身近なところに素晴らしい催しがあって、札幌ばかりじゃなく金道、全国の人がこの小樽を見にやって来るなんて素晴らしいですね。

# コンビニエンス ナカタ

稻穂3-4-17

TEL 22-3947 33-1751

Ski TEAM  
'79 会員募集中

OTARU SCHI  
MANSCHIFT

☎ 22-3970(樺商内)



## ポートの汗は ここでサッパリと 「デンキ湯」

「あわ、体育館みたい。うわさには、聞いていたがほんとうだ。」

錢湯에서는, 유니크한 건물입니다. 운하 쪽으로 헛디어는 왼쪽에 고개교가 있는 건물입니다. 그 아래로 물이 흐르고, 그 위에는 운하가 있습니다.

私が感じた錢湯のイメージは、浮世絵を連想します。それと三助さんです。

場所は、龍宮神社を運河方面へずっと下がると左の方に高橋ヒーフ科があるのです。その下隣すぐありますよ。ひさびさの錢湯なので、たのしみにしていたんですね。軽い足どりで行って来ました。

私が感じた錢湯のイメージは、浮世絵を連想します。それと三助さんです。

場所は、龍宮神社を運河方面へずっと下がると左の方に高橋ヒーフ科があるのです。その下隣すぐありますよ。ひさびさの錢湯なので、たのしみにしていたんですね。軽い足どりで行って来ました。

ところで、なぜ「デンキ湯」と言う名前なのか尋ねてみました。錢湯ができた当時は湯の中にニクロム線が通っていてピリ、りするから「デンキ湯」だそうです。そのニクロム線が、リュウマチや神經痛によく効いたのです。今は、ないのが残念ですね。

錢湯のおかみさんと言うと、ぬかみそくさうなイメージがするでしょう。ショナブルなのは、ワインカラーのワニピースなどを見ていて若々しいのね。女湯に入つて行くと、すぐ目につくのが千昌夫さんのポスターでした。

「おかみさん、千昌夫さんのファンなんですか。なんて聞いてみたら、「ええ、大好きなのよ。」とほほを少し赤く染めちゃつていました。

この「デンキ湯」運河に近いのね。それでおかみさんに去年のポートフェスティバルの事を、それとなしに尋ねてみたのです。

「去年、運河の所で祭りがあったのをおぼえてますか。」

「ええ、おぼえてますよ。私も行って来ましたよ。小樽にもみんな祭りがあるのね。若い人はかりと思つて行ってみたら私たち位の年代の人たちもいっぱいいて今年もやるのかしらねエ。」

「ええ、もちろん！ おかみさんも行きますよ。たのしみにしますよ。」

おかみさんと話をしている間に、フルーツ牛乳を2本も飲んでしまった。その他に、おかみさんにおめ玉をこちらになっさね。私のおなかけは、元気のよいおなかけだなあ。

帰りだけに、あのおばあちゃんの事を思いだし今度会えた時は、ヒデキの振り付けもおしえてあげよう。

今日は、よい一日でした。

おほかみさんと話をしている間に、フルーツ牛乳を2本も飲んでしまった。その他に、おかみさんにおめ玉をこちらになっさね。私のおなかけは、元気のよいおなかけだなあ。

帰りだけに、あのおばあちゃんの事を思いだし今度会えた時は、ヒデキの振り付けもおしえてあげよう。

今日は、よい一日でした。

おほかみさんと話をしている間に、フルーツ牛乳を2本も飲んでしまった。その他に、おかみさんにおめ玉をこちらになっさね。私のおなかけは、元気のよいおなかけだなあ。

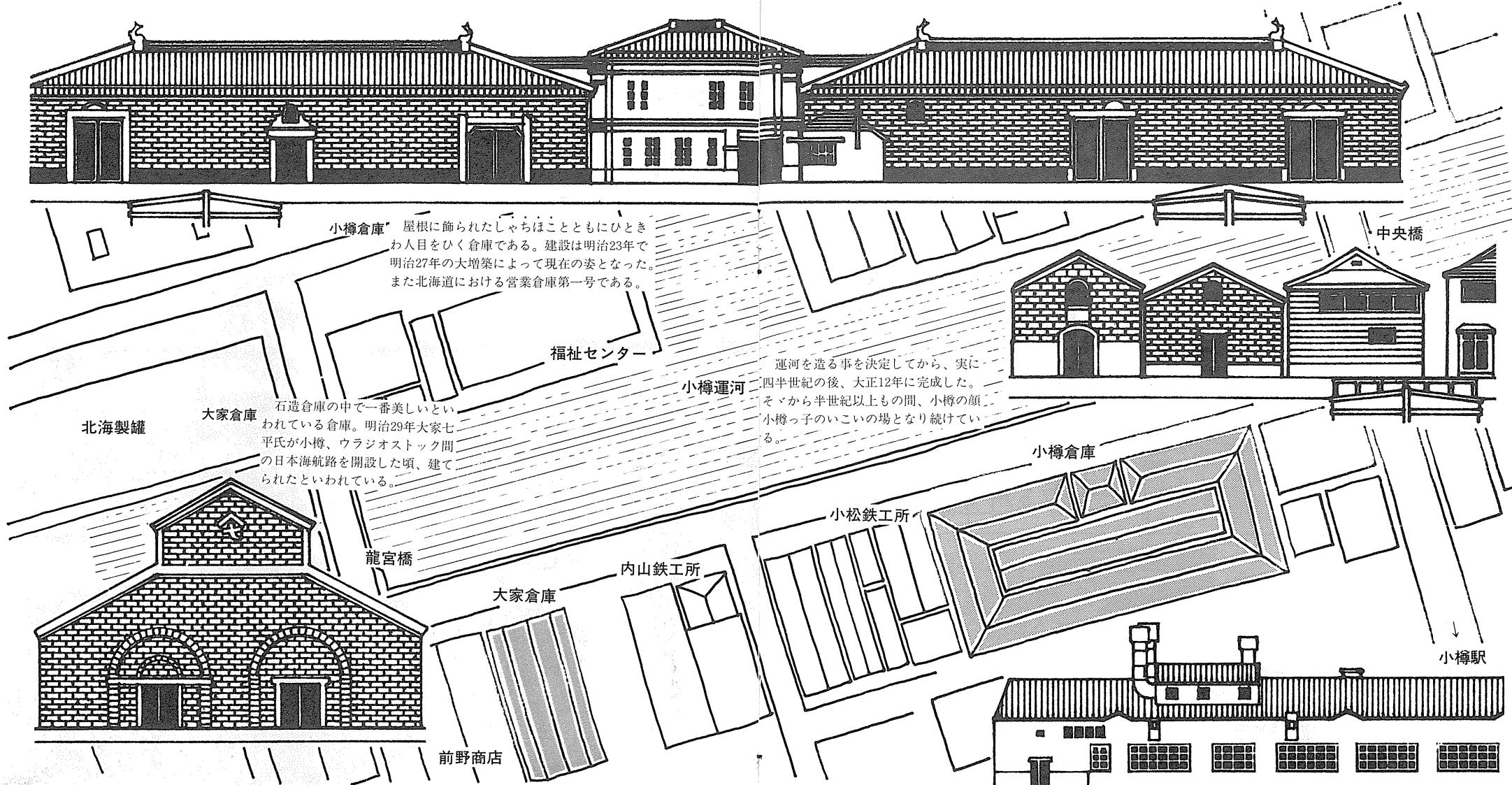
帰りだけに、あのおばあちゃんの事を思いだし今度会えた時は、ヒデキの振り付けもおしえてあげよう。

今日は、よい一日でした。

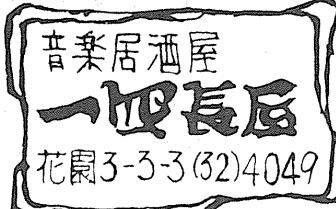
おほかみさんと話をしている間に、フルーツ牛乳を2本も飲んでしまった。その他に、おかみさんにおめ玉をこちらになっさね。私のおなかけは、元気のよいおなかけだなあ。

帰りだけに、あのおばあちゃんの事を思いだし今度会えた時は、ヒデキの振り付けもおしえてあげよう。

今日は、よい一日でした。



毎月第3木曜日ライブ唄長屋



毎夜9時 一匹みのるの三曲長屋



音楽酒場

どり~む

DREA

花園3-6 昭和通り

TEL 33-0892

自家焙煎珈琲

……コーヒーだけの店……

あとりゑ

小樽市稻穂2丁目16番9号  
phone 32-8686

オレンジ色の

月の夜は

岸辺に咲く

白い花が

歌ってくられます

そんな 夜は

海中に沈んで

イローサブマリンの

水中船で

海底から水平線へ

旅ござましよう

そんな夜は

白いかもめも

日を覚まし

私たちに

語ってくれます

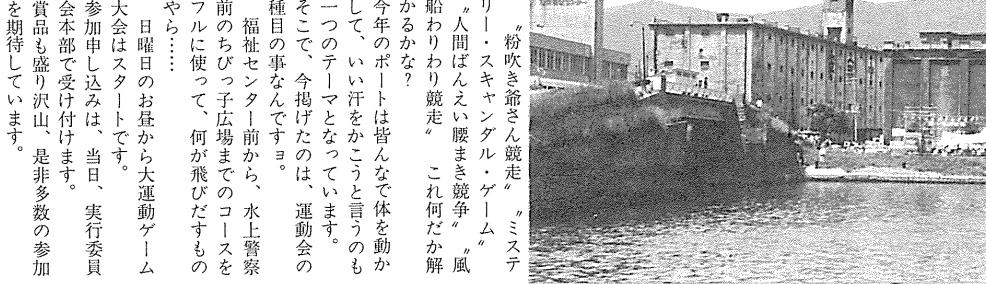








## 13月見橋を越えたらゴールは目の前



## 14出店がなければ祭りは始まらない！

ステイバルならでは。なにせ、祭り 자체が周りの景色や雰囲気と解け込んでるもんだから最高。それから、その周囲にあるお店も、仲々手づくりといふ感じがあふれ出でていて、よいのだなあ。つぶやき、いかやきもあるし、焼きそばもある。おでんなんか食いながらいろんな店をぶらぶら見てると、どんな女の子に声をかけても別におかしくないから不思議。なにせ、あっちこっちから集まってるんだから、行きずりれない日になりそう。

尚、ビール券発売中、お近くのレコード店じやなかつた、叫営楼が轟半に

お祭りの笛や太鼓の音が聴こえてくると、真っ先に考えるのは、今年はどんな出店が来るのかな。

去年買ったあのアリキのおもちゃ屋さん今年もちゃんと出でてくるかなとか、大好きな馬車の模様今年はどんな風になってるのかなとか・・・あの出店がズラッと並んでる中を胸をワクワクさせながら、次から次へと飽きもせず

に巡り歩いていた小さい頃のこと

をどうしたって想い出してしまいます。

## 15カヌーとカッター どっちが速い？

ポートの出店の目玉はなんてつたって手造りの品物の圧倒的な数と種類、普段自分たちの手でコツコツと作ってきた作品が沢山集まつてくる。簾細工、七宝焼、洋服、手染めエプロン、パッチワーク、それにポートでしか買えない紙ランタン、うちわ、ハイ直輸入のポツチギスソーボードなど、張り判らないものもある。夏のキャンプに欠かせないアウトドア用品もここへ来ればみんな揃っちゃうぞ。なんと一八百屋、魚屋のたき売りなんて信じられないようなものまで登場してくれる。ゲームコンナーではフリースビの面白い遊び方をイロイロ教えてくれるよ。

### 電気工事なら一切

市内錦町8-1

(代表)0134 33-2511

越前電気株式会社

### 池端米穀店

緑I-20-8

22-3295



## 8二人で1つのハピネス……♪♪♪♪♪♪♪♪

夏の小樽港をながめながら、さわやかなのどごしのビールを飲む。また格別。今年のポートフェスティバルにもビアホールが登場します。位置は、福祉センターの横、そしてはしけの上の二ヵ所です。売り子は、水天宮のお祭りなどでおなじみ、小樽女子短大の学生達。昨年も、プロ並みの素人サービスで、大いに人気がありました。

福祉センター横のビアホールは、すぐそばでギンギンやつるメインステージや周囲の食べ物の出店と一緒になつて、独特的の雰囲気と解け込んでるもんだから最高。それから、その周囲にあるお店も、仲々手づくりといふ感じがあふれ出でていて、よいのだなあ。つぶやき、いかやきもあるし、焼きそばもある。おでんなんか食いながらいろんな店をぶらぶら見てると、どんな女の子に声をかけても別におかしくない、そんな感じなんです。なにせ、あっちこっちから集まってるんだから、行きずりれない日になりそう。

当日は、冷たいビールなしではいらぬ日になりそう。

## 9アル中になつてもいいじゃないか



## 10公開放送もやつてるぞ！

S-TVの午前中に放送している「奥さま広場」について番組知つてかかる。この番組の公開録音が、7月8日㈰の12時から3時まで、静会場で行なわれるのです。

司会は島高悟郎さんで、新人の歌手が2人ぐらい、いっしょに皆さんとゲームをしたり歌を歌つたりすると言う事になっています。

その中には、「アクション・ワイド」と言うのがあって、カラオケでのど自慢大会をやるそうです。

## 12忙中閑有“ちかれたびい~”



かなのどごしのビールを飲む。また格別。今年のポートフェスティバルにもビアホールが登場します。位置は、福祉センターの横、そしてはしけの上の二ヵ所です。売り子は、水天宮のお祭りなどでおなじみ、小樽女子短大の学生達。昨年も、プロ並みの素人サービスで、大いに人気がありました。

夏の小樽港をながめながら、さわやかなのどごしのビールを飲む。また格別。今年のポートフェスティバルにもビアホールが登場します。位置は、福祉センターの横、そしてはしけの上の二ヵ所です。売り子は、水天宮のお祭りなどでおなじみ、小樽女子短大の学生達。昨年も、プロ並みの素人サービスで、大いに人気がありました。

夏の小樽港をながめながら、さわやかなのどごしのビールを飲む。また格別。今年のポートフェスティバルにもビアホールが登場します。位置は、福祉センターの横、そしてはしけの上の二ヵ所です。売り子は、水天宮のお祭りなどでおなじみ、小樽女子短大の学生達。昨年も、プロ並みの素人サービスで、大いに人気がありました。

ただ今、文化財の指定を申請中の「奥さま広場」の会の人達が、ポートフェスティバルに賛助出演してくれる事になりました。

まだ今、文化財の指定を申請中の「奥さま広場」の会の人達が、ポートフェスティバルに賛助出演してくれる事になりました。

ニシン場のほんてんを着た15人のやん衆の音頭にのつて、今では幻の魚になつてしまつたニシンが、大群でやつて来るかも知れません。

夢にまで見た、あの「忍路にしん場の会」の人達が、ポートフェスティバルに賛助出演してくれる事になりました。



## 25 泥んこ汚れには“ざぶ”がある！

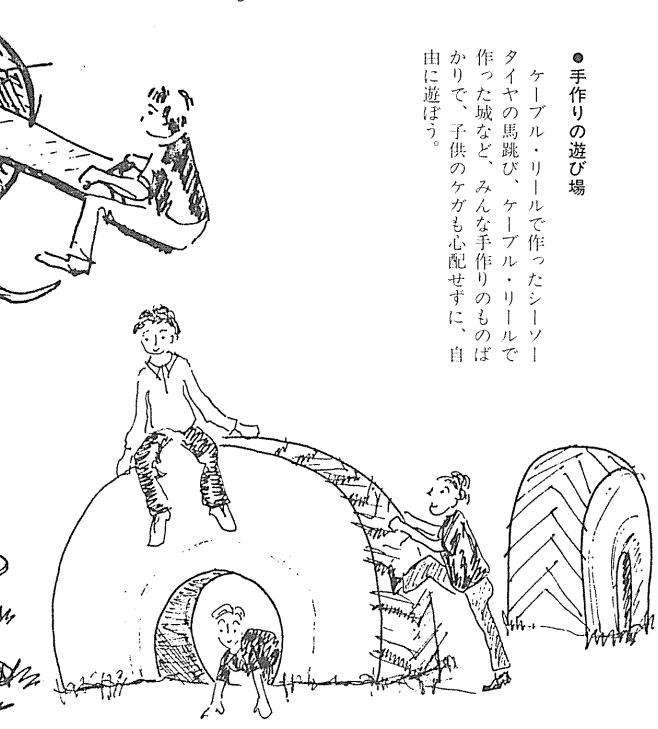
去年のボートと今年のボートの違うところと言つたら、「お年寄りから子供まで」って事かな？ そこで今年は、水上警察の前の広場につばいに「ちびっ子広場」がオープンします。

### ●昔からの遊び

竹馬、石けり、ケン玉、竹とんぼ、お年玉、おはじき、ビーチ玉などなど、お父さんお母さんの頃からある昔の遊びをいつしょにやりませんか。竹馬を実際につくって、乗つて見るのも今の子供達には一番大事なことかも知れませんよ！

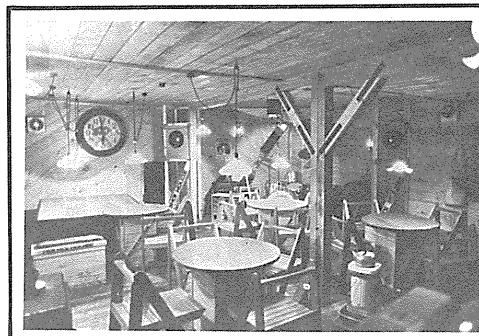
### ●落書きコーナー

大きな真っ白い紙に、自由に子供に絵を書かせて見ませんか？ どんな落書きでもかまいません、何が出来るかお楽しみ。

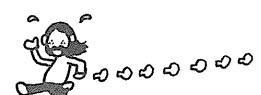


### ●手作りの遊び場

ケーブル・リールで作ったシーソー タイヤの馬跳び、ケーブル・リールで作った城など、みんな手作りのものばかりで、子供のケガも心配せずに、自由に遊ぼう。



## ホイホイハウス



TEL 32-5748



小生は小樽市内に在住の名もない会社員です。  
趣味と言つても何ひとつ取柄もなく、強いて言えは、時々ギター等を抱いて部屋の天井裏に住んでいたるねずみの親子に下手な唄を聞かせてやるぐらいなものです。  
そんな小生が六月四日(月)、水天宮境内で「夜行館」などと名をなす一一座によつて演じられる小屋掛芝居というものを、親しい友人から巧みな話術で券を買わされて、観覧する事になつたのです。  
小生芝居といふものを見物するには生まれ初めての事で、上演される一週間前から、一体どんな芝居なのかな、女優さんはきつときれいな人だらうなそつと恋文で渡しあうかな……などと一人胸を痛らせながら貧弱な空想をしていました。



最初は薄気味悪く感じたわらべ唄も、いつの間にか遠い昔に聞いた事があるような、懐しい響きにさえ感じられてきました。なんと自然な響きだろ。演歌や民謡のように誇張された歌い方とも違つて、日本人が自然に生活の中からつくりだしたメロディなんだなあと、勝手に一人で思い込み感心していました。

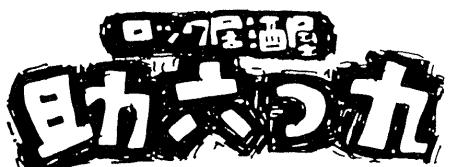
役者の動きは舞踊のよう、目の表現から指先まで細く神経が行き届いていたし、出来るだけ機械や道具を使用せず、肉声や自然の背景を利用した小屋掛芝居ならではの素朴ではあるが、生き生きとした迫力と現実感あふれる演出効果には感心しました。突然聞こえ出したり、わの音が録音でなく生の演奏であつたなら、もっと感激したでしょうけど、残念、残念。

今回の小樽公演で初めて使われた小屋をささえまだ新しい丸太が、一年せずに肉声や自然の背景を利用した小屋掛芝居ならではの素朴ではあるが、生き生きとした迫力と現実感あふれる演出効果には感心しました。突然聞こえ出したり、わの音が録音でなく生の演奏であつたなら、もっと感激したでしょうけど、残念、残念。

創業91年

## 寺山神仙店

小樽市総合銀座 / 番街 # デパート館 TEL 23-0366



OTARU SHIKI HANAZONO 0-0.  
TEL. 32-2942.

坂本造園  
庭師 坂本 金吾  
小樽市相生町 2-22  
TEL (25) 6315

**SEISHUN KIZOKU**  
青春貴族  
OTARU HANAZONO 1-4-5  
TEL 33-0330

## 飲み処 みくらチェーン

- 若松「みくら」
- 稲穂「パール」
- 嵐山通り「おとずれ」
- 手宮「琴」

全店女性募集 TEL 23-1880



三五商会・2輪専門店

HELLO!  
HENSHU  
KOKI

ナント!  
びっくり!  
臨時増刊

● 今回のポート特集は詳しいイベントの時間が載っていません。

● この本に使っている写真は全て去年のポートのものです。もし写つて

いる方、当日実行委員会部へ本を持って来て下さい。

Tシャツをさし上げます。

● ポートマップの倉庫会場が、前野商店になっていましたが、事情により海猫屋の2Fになりました。

1Fは営業していますので、間違わない様にして下さい。

● 今回のポート特集号いかがでしたか。

ページ数が28ページになりましたが値段が変わっていません。

その分ポートフェスティバルの運営資金の一部となっていると思って下さい。

この一冊を買う事によってあなたはポートに参加しているのです。

この前、編集室に角川博さんと言う人からレターが届いたんです。担当を

もった私は、博さんに電話をしたんで

す。私は、博さんに電話をしたんで

す。私は「もしもし...」ふいえすたの

のです。」「と言うとおばさんができて

て「エッなんの「へえふつた」です

つてばかにしないでよ。」と言われてしましました。ショック!

由美  
★編集室へ行って一番の仕事はセブン

イレブンへカップヌードルを買いに行きます。花園のセブンイレブンのおねえさん「いいえすた」に広告のせませんか?

にゅーふるす いす 真結美

手弁当のお祭りだから、たいへんのはわかるんだけど、それにしてもポートの連中の気迫には何か感じじさせられる物があります。

小樽の一番の底辺から盛り上つて志村さん等しつかり両目を開けて見てほしい。小樽っ子の根性を?

志村さん等しつかり両目を開けて見てほしい。小樽っ子の根性を?

バラが咲きました。ピンクと白でござります。夏なのです。青い空に風船、

夜空に花火、祭りの季節なのでござります。水着で祭りを見歩く様な、ポートフェスティバルになりますよう

と、願いをこめて表紙を書きましよう

皆がツメの時、私はテレビ出演のタメ、某所おりました。八月十九日の日曜劇場で、お目にかかりましょ

DAX シザーボン 夏ですねエー暑いですねエー

女性の装いも軽くなりまますねエー

白いグラウスがまぶしいですねエー

いいですねエー女性は...

男はバーミューダはけますねエー

ジョンギングパンツもいいですねエー

でも私ダメなんです。スネ毛が気

になるのです。誰かい方法教え

て下さい。ククク

編集長

## △ 編集室

## △ 発行所

## △ 発行責任者

## △ 連絡先

## △ 喫茶 叫兒樓

## △ 駅先

## △ 編集室

## △ 印刷所

## △ 広告のアンセン

## △ 入舟

## △ 私書箱

## △ 宛

## △ 勝納町

## △ 8番

## △ 55号

天下善博 滝沢裕 中野由美 原田たるみ

志佐公道 野口モグラ 平田まゆみ 原田DAX

ボートフェスティバル特集号

ふいえすた・小樽

保存版



ふいえすた・小樽

発行所 小樽夢の街つくり実行委員会

発行責任者 原田佳幸

写植

広告のアンセン

印刷

米沢印刷紙業株